



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) グループ経理局経理部長 (氏名) 市川 健治

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,548	2.4	589	2.4	674	2.6	379	16.2
2019年3月期第2四半期	12,251	1.7	604	40.8	692	37.9	452	36.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 108百万円 (81.6%) 2019年3月期第2四半期 590百万円 (31.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	172.97	
2019年3月期第2四半期	206.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	45,453	34,026	73.1
2019年3月期	46,857	34,118	71.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 33,244百万円 2019年3月期 33,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				90.00	90.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,710	3.7	1,130	38.3	1,270	35.8	850	31.8	387.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,240,000 株	2019年3月期	2,240,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	47,782 株	2019年3月期	47,754 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,192,244 株	2019年3月期2Q	2,192,345 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用環境の改善はあるものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、海外経済の不確実性の高まりにより個人消費及び景気は依然不透明な状況が続いています。

そのような状況の中、主力事業である放送事業収入は、テレビスポットの福岡地区投下量が前年を下回り低調だったこともあり減収となりました。また、その他事業収入も大型イベントの減少により大幅に前年を下回りました。一方、システム関連事業収入は、医療分野の受注が好調なこともあり前年を大幅に上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は125億48百万円（前年同期比 2.4%増）で増収となりましたが、営業利益は5億89百万円（前年同期比 2.4%減）、経常利益は6億74百万円（前年同期比 2.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億79百万円（前年同期比 16.2%減）でいずれも減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入82億90百万円（前年同期比 1.3%減）、営業利益4億81百万円（前年同期比 17.3%減）となりました。

テレビ部門は、収入72億11百万円（前年同期比 2.2%減）となりました。主力商品であるスポット収入は2.9%減となりました。業種別では、その他のサービス業、アルコール飲料などが伸びたものの、食品、薬品、輸送機器などが落ち込みました。また、タイム収入も1.2%減となりました。

ラジオ部門は、収入10億79百万円（前年同期比 5.1%増）となりました。スポット収入が7.4%減となったものの、系列局向けネット番組の増加によりタイム収入が14.3%増となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入28億43百万円（前年同期比 44.9%増）、営業利益94百万円（前年同期は営業損失1億17百万円）となりました。

医療分野のソフトウェア開発とそれに伴う機器の納品及びウインドウズ7のサポート終了による買い替えの特需があり売上が大きく伸び、営業利益も大幅な増益となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入5億28百万円（前年同期比 1.3%減）、営業利益5億39百万円（前年同期比 3.2%減）となりました。

テナント収入は前年並みでしたが、不動産仲介料の減少により減収減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入8億85百万円（前年同期比 34.6%減）、営業損失77百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

催事部門では、今年4回目を迎えた福岡縣護国神社での野外音楽イベント「福岡音楽祭音恵2019」、西日本総合展示場で「いきものKINGDOM in北九州」、いのちのたび博物館で「探検！両生類・は虫類の世界」等を開催しました。また、福岡市との「The Creators」等、行政と連携したイベントも前期に引き続き実施しました。

しかしながら、前年同期のような大型の催事がなく大幅な減収となり、利益面でも営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億3百万円減少し、454億53百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が17億62百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ13億11百万円減少し、114億27百万円となりました。これは主に、支払等により未払費用が3億92百万円、退職給付に係る負債が1億80百万円、設備支払手形が1億56百万円及び未払法人税等が1億24百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、340億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績見通しにつきましては、主力であるテレビ収入が2019年8月8日に公表いたしました予想より減収となることを見込まれるため、業績予想を修正しております。この結果、通期は、売上高257億10百万円、営業利益11億30百万円、経常利益12億70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億50百万円を見込んでおります。

(参考)

・2019年8月8日発表の連結業績予想(通期)

売上高263億60百万円、営業利益17億60百万円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する当期純利益12億30百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,276	10,150
受取手形及び売掛金	5,091	3,329
有価証券	30	60
たな卸資産	234	320
その他	2,433	2,664
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,064	16,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,404	6,251
機械装置及び運搬具（純額）	947	871
土地	13,320	13,320
その他（純額）	1,362	1,256
有形固定資産合計	22,034	21,700
無形固定資産	294	275
投資その他の資産		
投資有価証券	5,117	4,650
その他	2,347	2,304
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,463	6,953
固定資産合計	29,792	28,929
資産合計	46,857	45,453
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	487	484
未払法人税等	338	213
その他	3,727	2,946
流動負債合計	4,553	3,645
固定負債		
退職給付に係る負債	4,997	4,816
その他	3,187	2,965
固定負債合計	8,185	7,782
負債合計	12,738	11,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	31,745	31,927
自己株式	△183	△184
株主資本合計	32,126	32,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294	993
退職給付に係る調整累計額	△69	△56
その他の包括利益累計額合計	1,225	936
非支配株主持分	766	781
純資産合計	34,118	34,026
負債純資産合計	46,857	45,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	12,251	12,548
売上原価	7,443	7,886
売上総利益	4,808	4,662
販売費及び一般管理費	4,204	4,072
営業利益	604	589
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	70	69
その他	17	15
営業外収益合計	89	86
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	2
営業外費用合計	0	2
経常利益	692	674
特別利益		
補助金収入	28	—
特別利益合計	28	—
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	1	2
解体撤去費用	21	—
特別損失合計	23	2
税金等調整前四半期純利益	696	671
法人税等	262	271
四半期純利益	433	399
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	452	379

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	433	399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	△302
退職給付に係る調整額	19	11
その他の包括利益合計	156	△290
四半期包括利益	590	108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	610	90
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,400	1,962	536	1,352	12,251	—	12,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	26	425	684	1,206	△1,206	—
計	8,470	1,989	961	2,037	13,458	△1,206	12,251
セグメント利益又は損失(△)	582	△117	556	△3	1,018	△414	604

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△414百万円には、セグメント間取引消去3百万円、当社における子会社からの収入136百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△554百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,290	2,843	528	885	12,548	—	12,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	42	426	703	1,235	△1,235	—
計	8,353	2,885	955	1,589	13,783	△1,235	12,548
セグメント利益又は損失(△)	481	94	539	△77	1,037	△447	589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△447百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入105百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△553百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	7,417	77.9	7,252	80.8	△165	△2.2
ラジオ収入	1,052	11.1	1,101	12.3	48	4.6
その他の収入	1,050	11.0	618	6.9	△432	△41.1
合計	9,520	100.0	8,972	100.0	△548	△5.8